

「豊根村視察」

渡邊 一弘

県内に2つしかない村。山間の村と海沿いの村が平成24年12月に災害相互応援協定を結びました。翌年に豊根村へ行ってから2年余り経った昨年10月に2度目の視察を行いました。豊根村の人口1300人、面積156平方キロメートル内93パーセントが山林です。ちなみに飛鳥村は人口4600人、面積22・5平方キロメートルです。前回訪

問では茶臼山のリフトに乗り一面の芝桜を見たかったのですが、時期遅く花畑の養生の様子を見た覚えがあり少し残念な思いがありました。

今回は、まず意見交換会が行われました。その場で豊根村のまち・ひと・しごと創生総合戦略のパンフレットをいただきました。本村は動きだしたばかりで少し後れをとった感がありますが、2年・3年費やしても、慌てずにしっかりとしたものを作らなければならないと思います。

さて、豊根村の内容で目を引かれたものは、農水産業で食の新しい魅力をつくるというものです。6次産業化に取り組みブルーベリーのジャム、トマケチャップ等の加工品

づくりに加え、今回道の駅をつくるなど販路拡大にも取り組んでみえます。また新たにチョウザメの養殖を始められました。まだ生育途中でキャビアはとれないとのことでしたが昼食時、刺身を出していただきました。くせもなく、おいしくいただきました。

もう一つは茶臼山を観光ブランドとして確立しようとするものです。スキー場、芝桜の丘、温泉パルとよね、秋の紅葉のライトアップなど四季を通しての集客に頑張ってみえます。10月25日には豊根村が近隣市町村に呼びかけ第一回の三遠南信食の祭典を紅葉の茶臼山にて行われました。10月22日の新聞にも掲載されているのを見て、PRも

新聞掲載を使い上手にやってみえるなあと感じしました。

最後に、この2年余りの間に両村の子どもたちの行き来があったと聞いていますが、一部の人のみならず村民同士の大きな交流ができることを期待します。



レストハウスやはずにて



チョウザメの刺身



海部郡町村 議会議員 研修会

12/22

12月22日、蟹江町において、海部郡町村議会議長会による研修会が開催されました。
愛知県市町村課市町村行政支援室の上村忍主幹より、「市町村行政をめぐる話題」と題し、講演をいただきました。